

# 2020年3月期 第2四半期 決算説明資料



2019年11月20日  
大建工業株式会社  
(証券コード：7905)

## 目 次

### 1. 2020年3月期 第2四半期 業績

■ 2019年度 上半期 市場環境	4
■ 2020年3月期 第2四半期 業績	5
■ 2020年3月期 第2四半期 セグメント別業績	6
■ 2020年3月期 第2四半期 営業利益増減要因 実績	7
■ 2020年3月期 第2四半期 市場別 売上実績	8
■ 北米木質素材事業への展開	9
■ 2020年3月期 第2四半期 市場別 売上実績 セグメント別増減	10
■ 株式会社リフォームキューをグループ化	11

### 2. 2020年3月期 業績予想（修正）

■ 2020年3月期 業績予想（修正）	13
■ 2020年3月期 営業利益増減要因 予想（修正）	14
■ 2020年3月期 市場別 売上予想 セグメント別増減	15

### 3. 財務情報

■ 2020年3月期 第2四半期 連結貸借対照表	18
■ 2020年3月期 第2四半期 連結損益計算書	19
■ 2020年3月期 第2四半期 連結キャッシュフロー計算書	20
■ グリーンボンド発行	21

# 2020年3月期 第2四半期

---

## 業績

# 2019年度 上半期 市場環境

## <住宅市場>

- ◆2019年度上半期（4-9月）新設住宅着工戸数は、貸家の大きな落ち込み（△15.7%）を反映し、全体では△5.0%となる一方で、2019年10月からの消費増税に向けた駆け込み需要があり、持家（+4.4%）、分譲戸建（+4.0%）と好調に推移。

## <公共・商業建築分野（非住宅分野）>

- ◆技能工不足による労務費高騰などが引き続きあるものの、東京オリンピック・パラリンピック関連工事や首都圏中心の再開発プロジェクトなど建設工事需要は底堅く推移。
- ◆前中期経営計画期間で拡充した施設別の機能建材製品の提案機会も広がった。

## <原材料上昇・高止まり、物流費の高騰>

- ◆一部の品目で収まりつつあるが、輸入合板、木材チップ等の原材料、エネルギー価格の上昇、また、物流費の高騰が利益の圧迫要因に。

## <海外市況の影響>

- ◆米中貿易摩擦、米によるイラン向け経済制裁などの影響により、MDFのアジアを中心とした需要の低迷から市況が悪化。

# 2020年3月期 第2四半期 業績

- ◆売上高は、ビルダー向け建材の採用増、公共・商業建築向けの材工受注拡大に加え、新規連結が寄与し、+11.9%の増収。期初予想に対しては、MDFにおいて、アジアを中心とした海外需要の低迷から販売に苦戦し未達。
- ◆営業利益は、新規連結効果等により+22.9%の増益。期初予想に対しては、MDFの競争激化や貸家の着工減の影響などにより未達。

(単位：百万円)	'19/3期2Q (実績)	'20/3期2Q (実績)	前年同期比		'20/3期2Q (期初予想)	実績との差
			増減	増減率		
売上高	87,203	97,548	+10,345	+11.9%	99,000	△1,452
営業利益	3,083	3,790	+707	+22.9%	4,600	△810
営業利益率	3.5%	3.9%	+0.4pt	-	4.6%	△0.7pt
経常利益	3,660	4,197	+537	+14.7%	5,000	△803
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,446	2,087	△359	△14.7%	2,700	△613
1株当たり 四半期純利益	100.15円	80.21円	△19.94円	△19.9%	103.78円	△23.57円

# 2020年3月期 第2四半期 セグメント別業績

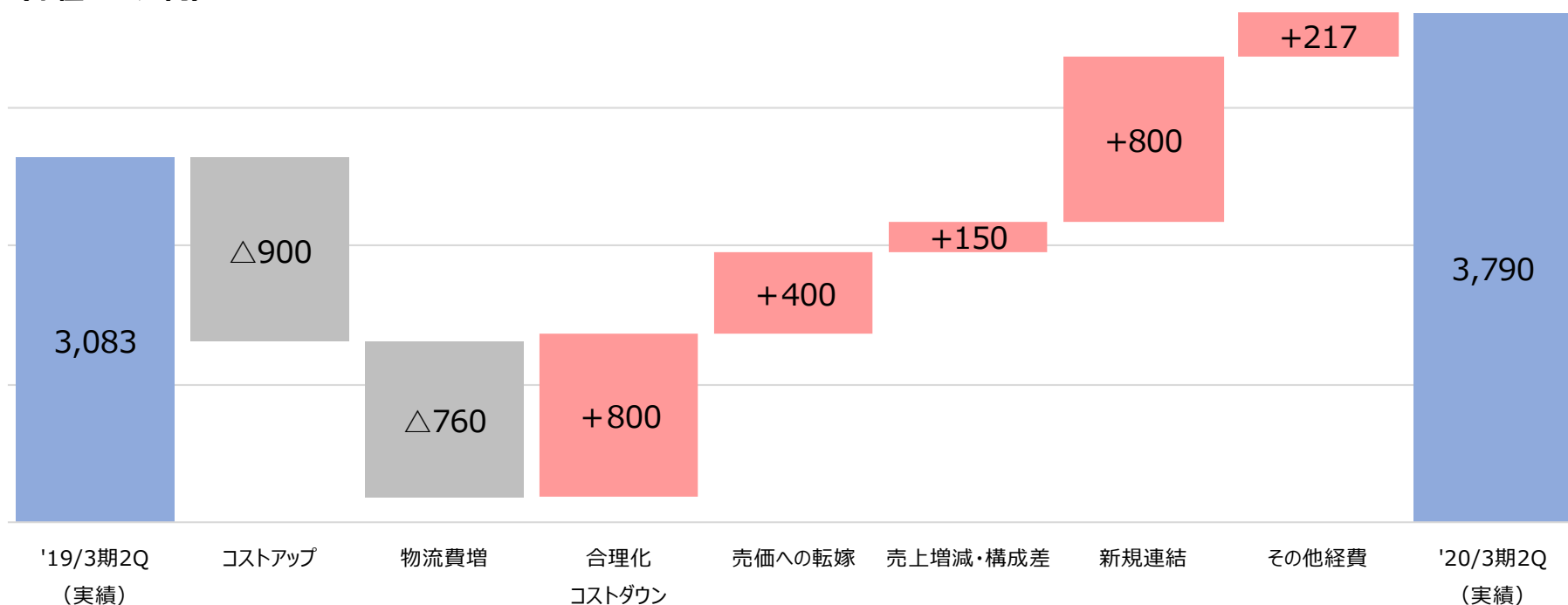
- ◆ 素材事業：MDFの販売苦戦に加え、ダイライトが前年トラブル影響から回復が遅れるも、畳おもての拡大、新規連結により増収増益
- ◆ 建材事業：輸入合板等の原材料価格及び物流費上昇に対し、住宅市場、公共・商業建築分野の両市場での床・ドア・収納等の受注拡大、売価転嫁により増収増益
- ◆ エンジニアリング事業：オフィスビル等の内装工事の受注拡大で増収となるも、技能工不足による人件費高騰等により、前期比で内装工事の採算性が低下したため減益

(単位：百万円)	'19/3期2Q		'20/3期2Q					
	売上高	営業利益	売上高	前年同期比		営業利益	前年同期比	
				増減	増減率		増減	増減率
素材事業	30,281	842	36,365	+6,084	+20.1%	1,129	+287	+34.1%
建材事業	42,301	1,513	46,652	+4,351	+10.3%	2,226	+713	+47.1%
エンジニアリング事業	8,073	458	10,152	+2,079	+25.8%	329	△129	△28.2%
その他	6,546	269	4,376	△2,170	△33.1%	104	△164	△61.2%
合計	87,203	3,083	97,548	+10,345	+11.9%	3,790	+707	+22.9%

# 2020年3月期 第2四半期 営業利益増減要因 実績

- ◆コストアップ：輸入合板、木材チップ等の原材料及びエネルギー価格の上昇
- ◆物流費増：運賃単価、保管料の上昇
- ◆合理化・コストダウン：各種購買品の見直し、素材事業における海外製造子会社の為替影響
- ◆売価への転嫁：コストアップ及び物流費増に対して建材事業を中心に対応
- ◆売上増減・構成差：素材事業のMDF及びエンジニアリング事業における内装工事の前期比での採算性低下に対し、建材事業の増収効果により純増
- ◆新規連結：2Qからの北米木質素材事業、リフォーム会社の新規連結効果

(単位：百万円)



# 2020年3月期 第2四半期 市場別 売上実績

(単位：百万円) 上段：売上高、下段：構成比	'19/3期2Q (実績)	'20/3期2Q (実績)	前年同期比	
			増減	増減率
海外市場	9,959	<b>16,255</b>	<b>+6,296</b>	<b>+63.2%</b>
	11.4%	<b>16.7%</b>	<b>+5.3pt</b>	-
公共・商業建築分野	9,122	<b>11,024</b>	<b>+1,901</b>	<b>+20.8%</b>
	10.5%	<b>11.3%</b>	<b>+0.8pt</b>	-
産業資材分野	16,469	14,174	△2,296	△13.9%
	18.9%	14.5%	△4.4pt	-
住宅リフォーム市場	14,081	<b>16,249</b>	<b>+2,167</b>	<b>+15.4%</b>
	16.1%	<b>16.7%</b>	<b>+0.6pt</b>	-
国内新築住宅市場	37,039	39,447	+2,407	+6.5%
	42.5%	40.4%	△2.1pt	-
その他	532	400	△132	△24.7%
	0.5%	0.3%	△0.2pt	-
国内市場	77,244	<b>81,293</b>	<b>+4,049</b>	<b>+5.2%</b>
	88.6%	<b>83.3%</b>	△5.3pt	-
合計	87,203	<b>97,548</b>	<b>+10,345</b>	<b>+11.9%</b>
	100.0%	100.0%	-	-



# 北米木質素材事業への展開

2019年6月28日、資本・業務提携先 伊藤忠商事の連結子会社であるカナダ単板工場 CIPA社、米国LVL工場 PWT社のグループ化が完了。北米における木質素材事業の展開を開始し、世界最大の木造住宅市場である北米市場に進出。1Q末よりB/S連結、2QよりP/L連結を開始し、連結業績に寄与。



## CIPA Lumber Co. Ltd. (CIPA社)

設立 1968年4月30日  
 所在地 カナダ  
 プリティッシュコロンビア州デルタ市  
 資本金 23,000千加ドル (1,955百万円)  
 (1加ドル85円換算)  
 事業内容 単板製造業

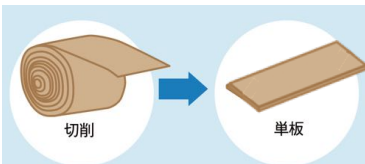


## PACIFIC WOODTECH CORPORATION (PWT社)

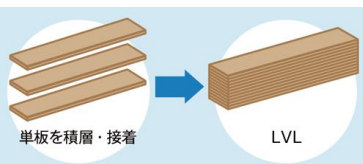
設立 1998年1月7日  
 所在地 米国 ワシントン州バーリントン市  
 資本金 26,000千米ドル (2,860百万円)  
 (1米ドル110円換算)  
 事業内容 構造用LVLおよびWood I-Joistの製造・販売

### 【事業フロー】

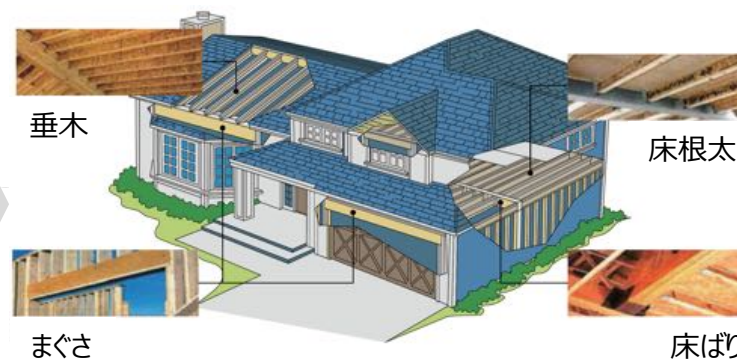
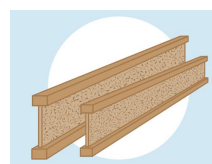
#### 単板製造 (CIPA社)



#### LVL製造 (PWT社)

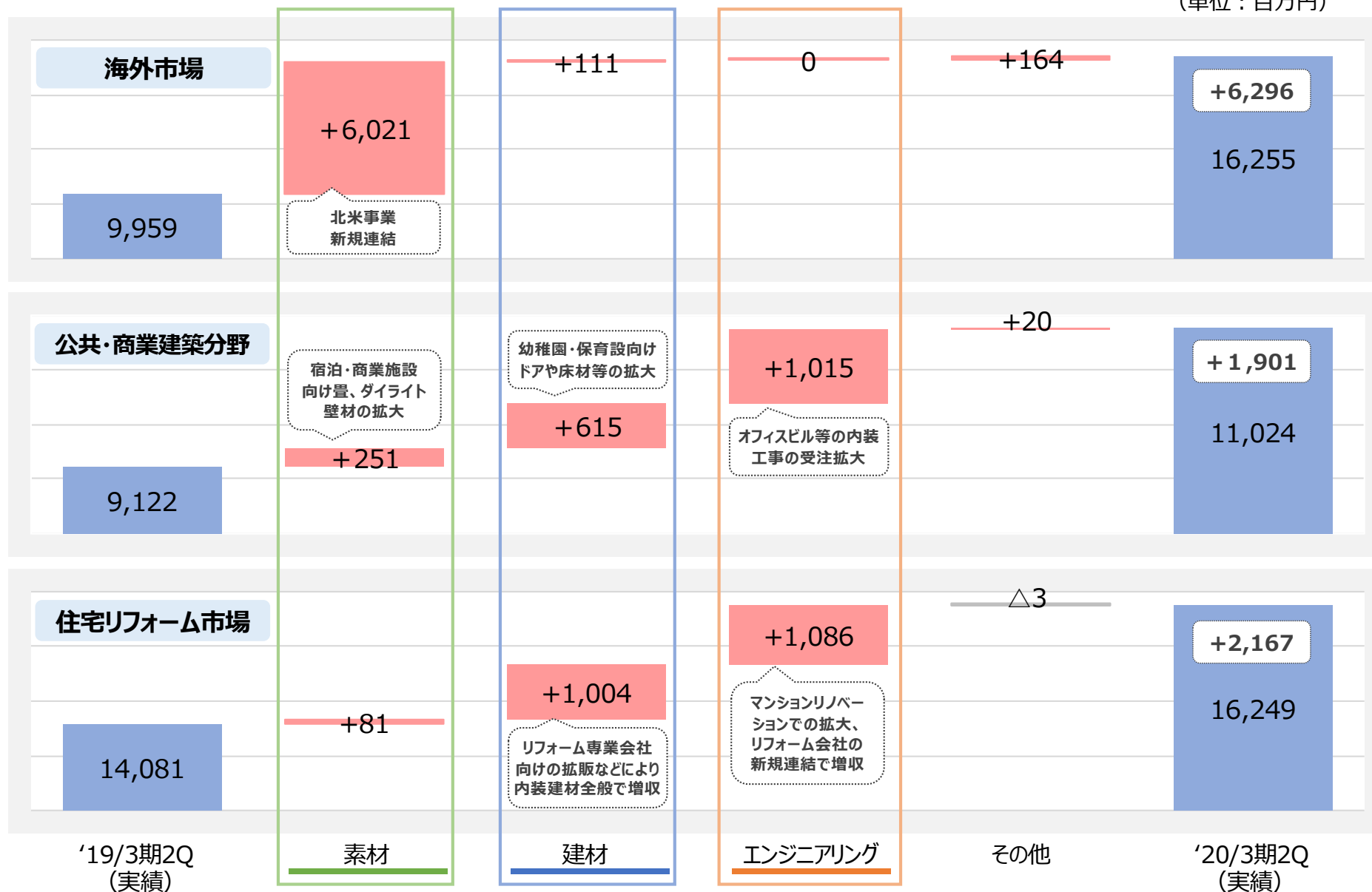


#### I-Joist製造 (PWT社)



# 2020年3月期 第2四半期 市場別 売上実績 セグメント別増減

(単位：百万円)



# 株式会社リフォームキューをグループ化

2019年7月、リフォーム事業を展開する株式会社リフォームキューをグループ化。工事能力及び工事領域の拡大により、首都圏におけるリフォーム工事の体制強化を図り、エンジニアリング事業全体の拡大につなげる。

## 【株式会社リフォームキューの概要】

事業内容	ビル・マンション・戸建のリフォームに関する企画・設計・施工
設立年月日	2004年4月1日
資本金	20百万円
売上高	1,566百万円（2019年3月期）
株式取得日	2019年7月1日
出資比率	100%（連結子会社）

## 【リフォーム事例】



# 2020年3月期

---

## 業績予想（修正）

# 2020年3月期 業績予想（修正）

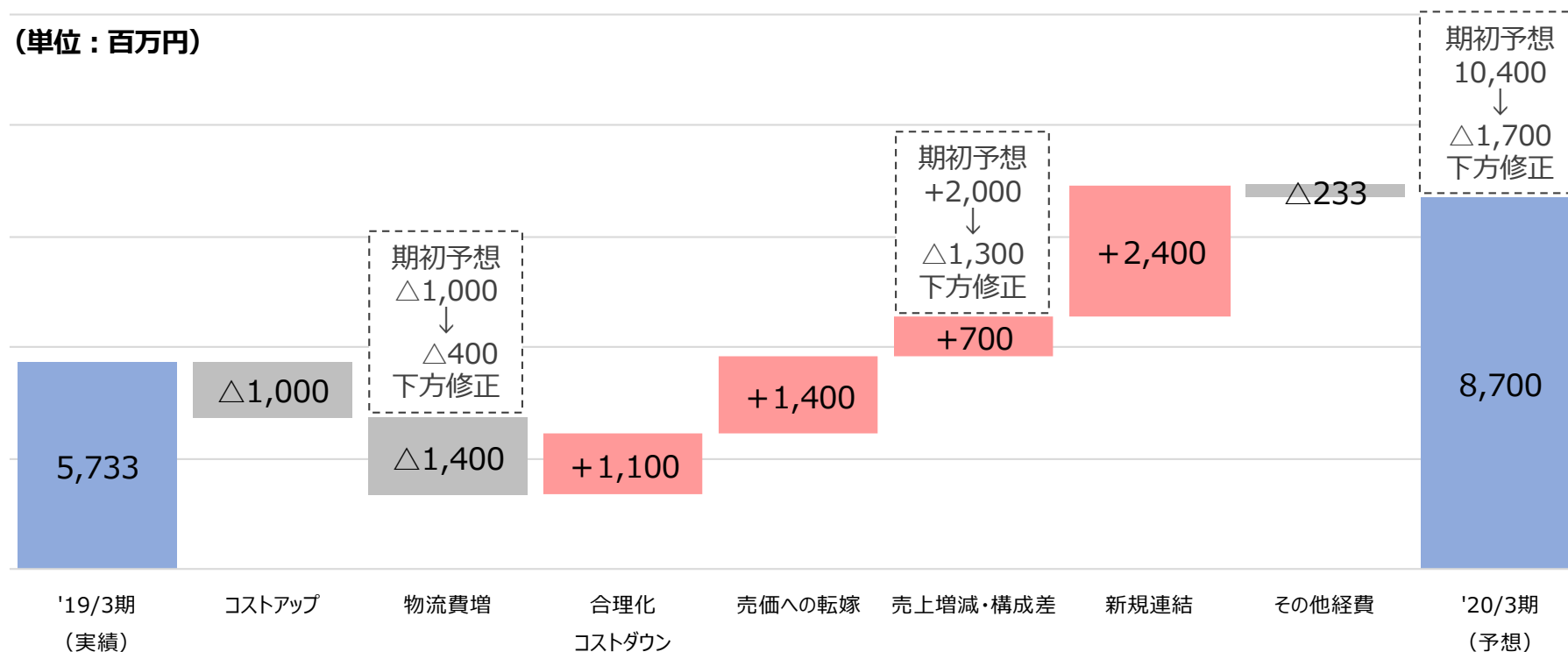
- ◆売上高は、新規連結などにより+10.4%の増収。MDFの市況悪化や貸家の着工減の影響が続くことが想定されることから、期初予想を下方修正
- ◆営業利益は、原材料価格及び物流費の上昇に対して、合理化コストダウン、売価への転嫁新規連結効果に加え、前期のトラブル影響がなくなる要因により+51.8%の増益  
MDFの採算性低下及び物流費上昇が想定を上回ることなどから、期初予想を下方修正

(単位：百万円)	'19/3期 (実績)	'20/3期 (5/10期初予想)	'20/3期 (11/8修正予想)	修正差額	前年同期比	
					増減	増減率
売上高	182,962	210,000	202,000	△8,000	+19,038	+10.4%
営業利益	5,733	10,400	8,700	△1,700	+2,967	+51.8%
営業利益率	3.1%	5.0%	4.3%	△0.7pt	+1.2pt	-
経常利益	6,838	11,100	9,400	△1,700	+2,562	+37.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,402	6,000	5,000	△1,000	+598	+13.6%
1株当たり 当期純利益（円）	174.55円	230.62円	192.12円	△38.50	+17.57	+10.1%
配当金（円）	74円	70円	70円	±0	△4円	-
配当性向（%）	42.4%	30.4%	36.4%	+6.0pt	+6.0pt	-
ROE（%）	7.8%	9.8%	8.5%	△1.3pt	+0.7pt	-

# 2020年3月期 営業利益増減要因 予想（修正）

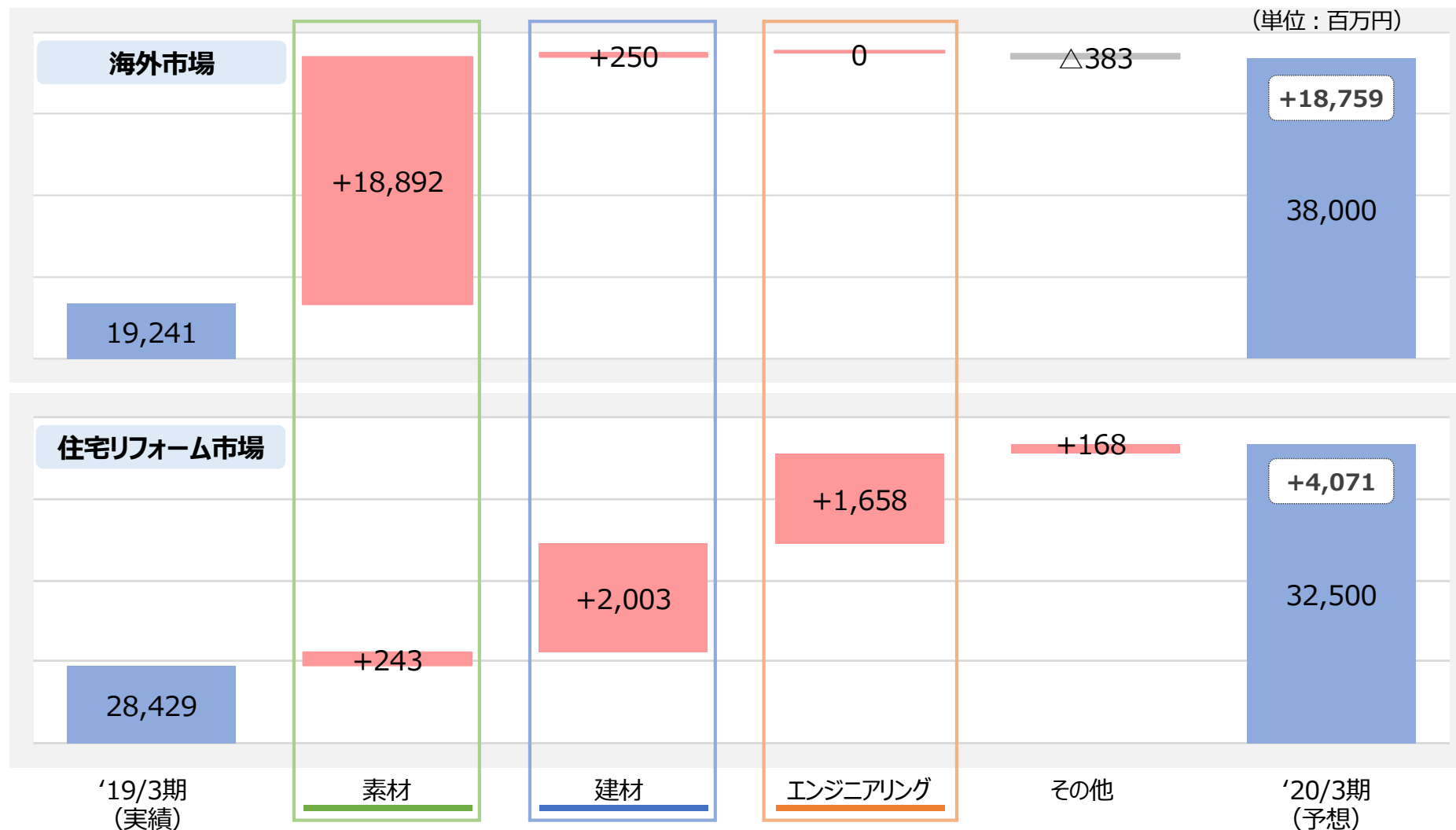
- ◆コストアップ：輸入合板、木材チップ等の原材料及びエネルギー価格の上昇
- ◆物流費増：運賃単価及び保管料の上昇を見込むも、想定よりも上昇幅が大きく下方修正
- ◆合理化・コストダウン：各種購買品の見直し等
- ◆売価への転嫁：原材料価格及び物流費の上昇等を受け、建材事業を中心に対応
- ◆売上増減・構成差：前期の一過性のトラブルの影響がなくなるも、MDFの市況悪化や貸家の着工減の影響が続くことが想定されるため、下方修正
- ◆新規連結：海外の素材事業、国内の無垢床材事業、リフォーム事業

(単位：百万円)



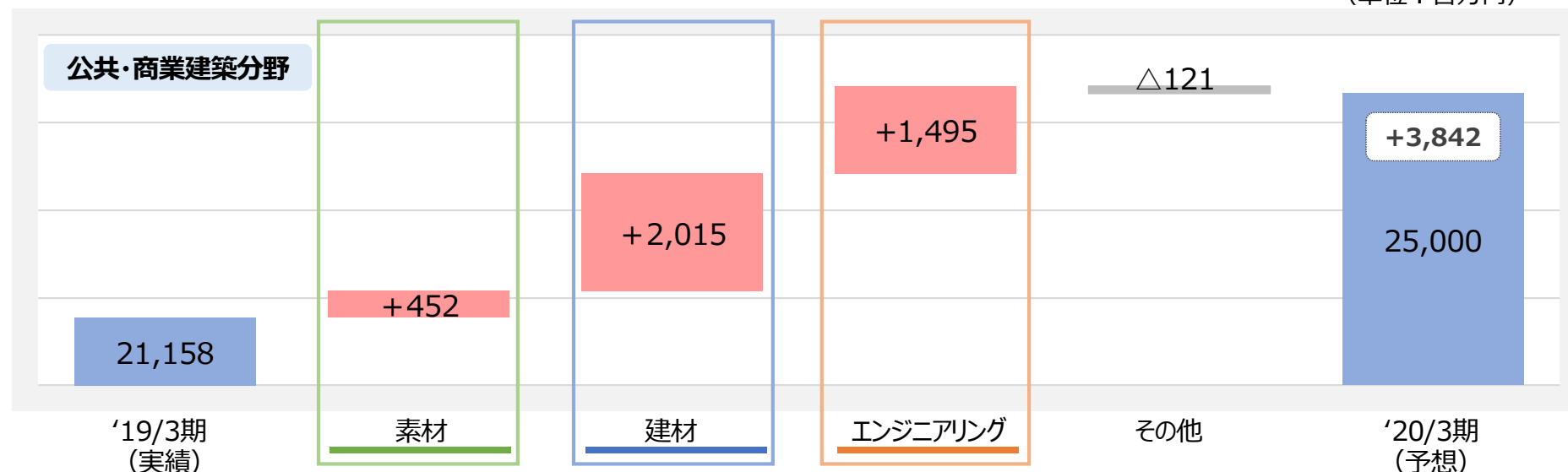
# 2020年3月期 市場別 売上予想 セグメント別増減①

- ◆海外市場：MDFの市況悪化は続くも、北米木質素材事業の新規連結効果により拡大
- ◆住宅リフォーム市場：省施工製品の提案拡充、マンションリノベーション事業の拡大に加え、リフォーム会社の新規連結により売上増



# 2020年3月期 市場別 売上予想 セグメント別増減②

(単位：百万円)



## 無垢床材事業の展開開始「株式会社テーオーフローリング」を子会社化

2019年11月、新たに文教施設などでニーズの高い無垢床材の事業展開を開始に向け、株式会社テーオーホールディングスとの合併会社「株式会社テーオーフローリング」の子会社化が完了。今後、無垢材製品ラインアップの拡充により、フローリング事業のさらなる強化を図る。

事業内容	フローリング事業（無垢・厚単板フローリングの製造、販売、工事）	合併会社 事業開始日	2019年11月1日
所在地	東京都練馬区	資本金	10百万円
製造拠点	夕張工場（北海道夕張市）	出資比率	大建工業株式会社：50%（連結） 株式会社テーオーホールディングス：50%



# 財務情報

---

# 2020年3月期 第2四半期 連結貸借対照表 (主な増減要因)

(単位：百万円)	'19/3期 (実績)	'20/3期2Q (実績)	前年同期比 増減
現金預金	16,865	14,087	△2,778
売上債権	50,511	44,234	△6,277
たな卸資産	21,363	26,857	+5,494
その他の流動資産	2,795	2,179	△616
流動資産合計	91,553	87,358	△4,195
有形固定資産	41,321	51,853	+10,532
無形固定資産	6,375	16,308	+9,933
投資その他の資産	20,831	19,698	△1,133
資産合計	160,158	175,332	+15,174
仕入債務	30,573	28,274	△2,299
社債・借入金	30,682	46,643	+15,961
その他の流動・固定負債	37,154	36,841	△313
負債合計	98,416	111,765	+13,349
株主資本合計	53,460	54,609	+1,149
純資産合計	61,741	63,566	+1,825
負債・純資産合計	160,158	175,332	+15,174
自己資本比率	36.8%	32.7%	△4.1pt
D/Eレシオ (倍)	0.52	0.81	+0.29

## ◆売上債権 △6,277

<主な要因>

新規連結	+1,617
前期末休日要因等	△7,894

## ◆たな卸資産 +5,494

<主な要因>

新規連結	+2,986
製商品在庫	+1,706
工事仕掛品	+703

## ◆有形固定資産 +10,532

<主な要因>

新規連結	+11,283
取得・建設仮勘定	+2,438
減価償却費	△1,979
為替変動 他	△1,210

## ◆無形固定資産 +9,933

<主な要因>

新規連結によるのれん増	+10,833
-------------	---------

## ◆社債・借入金 +15,961

<主な要因>

社債発行	+10,000
新規連結による借入金増	+7,360

## ◆純資産合計 +1,825

<主な要因>

非支配株主持分	+3,375
為替換算調整勘定	△1,830

# 2020年3月期 第2四半期 連結損益計算書 (営業外収支、特別損益 補足説明)

(単位：百万円)	'19/3期2Q (実績)	'20/3期2Q (実績)	前年同期比 増減
売上高	87,203	97,548	+10,345
売上総利益	21,604	24,289	+2,685
販売費及び一般管理費	18,521	20,499	+1,978
営業利益	3,083	3,790	+707
営業外収支	<b>+577</b>	<b>+407</b>	<b>△170</b>
経常利益	3,660	4,197	+537
特別損益	<b>△81</b>	<b>△433</b>	<b>△352</b>
税金等調整前四半期純利益	3,579	3,764	+185
法人税等合計	1,042	1,223	+181
四半期純利益	2,537	2,541	+4
非支配株主に帰属する 四半期純利益	91	453	+362
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>2,446</b>	<b>2,087</b>	<b>△359</b>

## ◆営業外収支 △170

＜主な要因＞	
為替差損益	△54
支払利息増	△54
受取配当減	△13

## ◆特別損益 △433

＜主な要因＞	
訴訟損失引当金繰入額	△166
投資有価証券評価損	△134
固定資産除却損	△75

為替レート (円)	'19/3期2Q (実績)	'20/3期2Q (実績)	前年同期比 増減
USD	-	107.29	-
CAD	-	81.25	-
NZD	75.64	71.20	△4.44
MYR	27.40	26.12	△1.28

## 2020年3月期 第2四半期 連結キャッシュフロー計算書 実績 (主な増減要因)

(単位：百万円)	'19/3期2Q (実績)	'20/3期2Q (実績)
営業キャッシュフロー	+3,990	<b>+7,435</b>
投資キャッシュフロー	△12,340	<b>△15,612</b>
フリーキャッシュフロー	△8,350	△8,177
財務キャッシュフロー	+10,990	<b>+5,490</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,385	<b>13,955</b>
設備投資額	3,738	2,353
減価償却費	1,999	2,353

### ◆営業CF +7,435

<主な要因>

税金等調整前四半期純利益	+3,764
減価償却費	+2,353
売上債権・仕入債務増減	+1,737
たな卸資産増	△1,821
法人税等の支払額	△1,956

### ◆投資CF △15,612

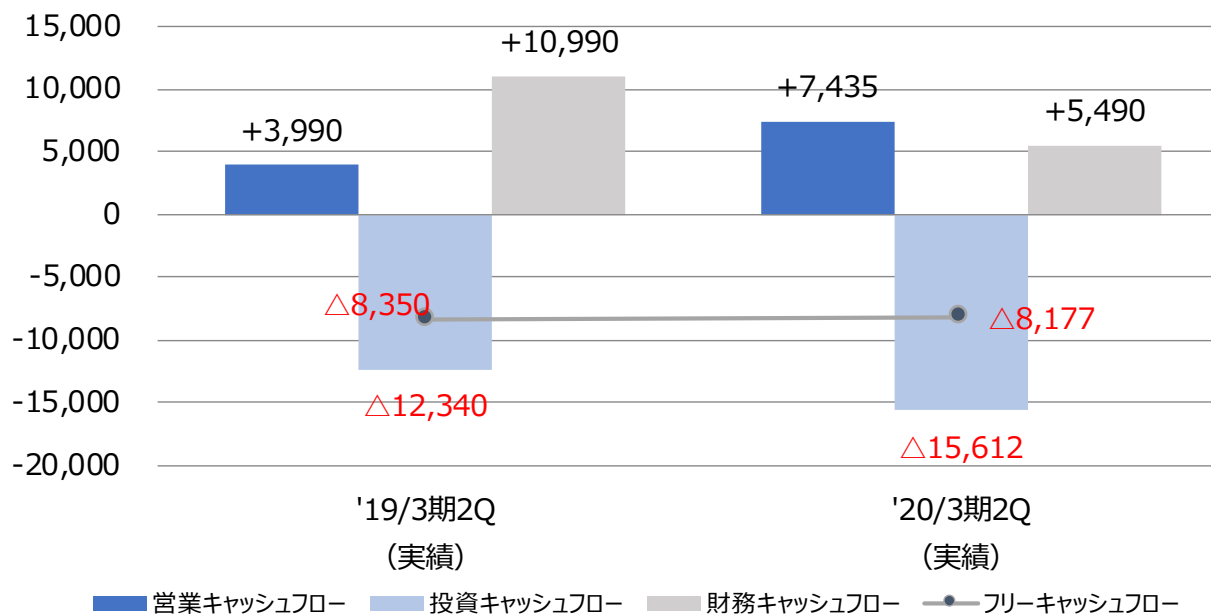
<主な要因>

有形固定資産の取得	△2,890
新規連結子会社株式取得	△12,778

### ◆財務CF +5,490

<主な要因>

社債発行による収入	+9,949
借入金減	△3,424
配当金の支払額	△962



# グリーンボンド発行

2019年9月、未利用資源や再生資源、循環利用が可能な木質資源等を主原料とする素材事業製品（ダイライト、ダイロートン、インシュレーションボード）を生産する岡山工場、高萩工場における改修のための新規投資資金、リファイナンスへの充当を用途とし、国内建材業界で初のグリーンボンドを発行。

## 【グリーンボンド発行条件概要】

社債の名称	大建工業株式会社 第1回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド)
発行総額	50億円
償還期限	2022年9月20日 (3年)
利率	0.20%
主幹事	大和証券株式会社
取得格付	BBB+ (株式会社日本格付研究所)

本グリーンボンドの適格性については、第三者評価として、株式会社日本格付研究所（JCR）から「JCRグリーンボンド評価」の最上位評価である「Green1」の本評価を取得。

※同時に第2回無担保社債(SB)を発行し、計100億円を調達  
発行総額：50億円、償還期限：2024年9月20日(5年)  
利率：0.280%

## ■ダイライト：未利用資源の有効活用、住宅耐震化の推進



## ■ダイロートン：再生資源の有効活用



## ■インシュレーションボード：木質資源の循環利用



キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

本資料は情報提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。  
本資料（業績予想を含む）は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が作成したものでありますが、  
リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。  
ご利用に関してはご自身の判断にてお願い致します。  
本資料に掲載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得る  
いかなる損失に対しても当社は責任を負いません。